

(様式1)

令和元年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県総合運動公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市南中田

3 施設設置年度
平成5年度

4 設置目的
平成12年に開催された2000年とやま国体のメイン会場として整備された県内最大級の運動公園

5 施設概要
敷地面積：46.0ha
主な施設
・陸上競技場：37,344㎡ 400mトラック9コース、インフィールド芝生舗装（106×70m）
収容人数約25,000人
・補助競技場：23,598㎡ 400mトラック7コース
・屋内グラウンド：6,354㎡
・芝生スポーツ広場：12,630㎡
・多目的広場：軟式野球場2面等 38,000㎡
・クロスカントリーコース：2.1km

6 指定管理者
(公財) 富山県民福祉公園

7 指定期間
5年
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H27	H28	H29	H30	R1
734,993	830,222	782,121	824,451	825,440

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H27	H28	H29	H30	R1
22,744	22,855	23,240	23,892	22,414

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H27	H28	H29	H30	R1
18,347	18,347	19,234	19,234	19,412

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・利用者数は対H30年度比100.1% (989人増)、有料公園施設の料金収入対H30年度比93.8% (1,478千円減)となった。
- ・陸上競技場芝生張替工事や新型コロナウイルスの影響で有料公園施設の利用は落ち込んだものの、富山県公式ウォーキングアプリを活用したイベントの実施や暖冬の影響等によりクロスカントリーコース利用者が増加し、利用者数はH30年度並みとなった。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・利用者のニーズに合わせて、冬季(12月～2月)の屋内グラウンドを無休とした。
- ・各競技団体の要望に応じ、休園日の開園や開園時間の延長などに対応した。
- ・平成29年度から設置した陸上競技場のFree Wi-Fiエリアを、地下エントランスロビーや更衣室まで拡大した。
- ・録画機能付き防犯カメラを1台増設した。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・令和元年度新たに、富山県公式ウォーキングアプリ「元気とやまかがやきウォーク」のミッション機能を活用したイベントを開催した。
- ・フラワーエコガーデニング講座(7回)を開催した。
- ・平成29年度から継続して芝生スポーツ広場及び補助競技場の芝のオーバーシードを行い、冬季も利用できるよう取り組んだ。
- ・クロスカントリーコース及び陸上競技場のコースの除雪を行ったほか、屋内グラウンドに落雪安全柵を設置し、冬場の利用促進を図った。
- ・平成29年度に導入した有料公園施設の電子予約システムを、スマートフォン対応にリニューアルした。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：①令和元年9月14日、②令和元年10月1日～10月31日、③令和2年2月8日 実施方法：イベント参加者に対するアンケート
回答者数	①112人、②172人、③60人
結果	・公園利用の感想 クロスカントリーコースが歩きやすい：33%、 芝生や花がきれい：15%、緑が多い：15%、安全：15%
結果を踏まえた改善事項	・ホームページ上や屋内掲示物で公共交通機関を案内した。

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・近隣地区自治会代表等による総合運動公園利用促進協議会を3回開催した。
- ・大会等競技団体との会議を開催し、意見を聴取した。
- ・意見箱を2か所設置している。

③ 主な苦情と対応

—

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・富山陸上競技協会や地元体育振興会の協力のもと、陸上イベント及び「ちびっこ雪合戦」を実施した。
・サッカー、ソフトボール、ラグビー、野球、陸上競技の各競技団体と調整し、年間スケジュールを組んでいる。
・近隣地区自治会、カターレ富山等による利用促進協議会を開催し、公園で開催されるスポーツイベントについて地元と対応策を検討した。
・利用者や地元自治会のボランティアにより、清掃、防犯パトロールなどを実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・大型の試合・大会の誘致や利用の少ない冬期間のイベント等を行っており、利用促進と利便性の向上に努めていることが認められる。
・今後とも、富山県のスポーツの中核施設として、利用の呼びかけやニーズ把握を積極的に行い、利用促進・利用者へのサービス向上に努めるとともに、全国規模の大会会場としてふさわしい施設の維持に努めてもらいたい。